

第27回配偶子制御セミナー

ヒストンの多種多様性を介したエピジェネティック制御

講師：浦 聖恵 先生

大阪大学大学院・医学系研究科・遺伝子治療学科学技術振興機構
さがけ(JST, PRESTO)

場所：A209会議室

日時：10月24日 午後1時15分から

浦先生達のグループは、最近、口蓋裂や発育不良、精神遅滞の症状を特徴とした4p-症候群(Wolf-Hirschhorn syndrome)の遺伝子欠損領域に含まれるWHSC1遺伝子が、ヒストンH3K36特異的なメチル化酵素であり、4p-症候群の主要な原因遺伝子である事をつきとめられました。最近の研究の進展も含めてお話いただきます。